

県では、4つの政策推進の基本方向に沿って、この10年間で各種施策を展開していく中で、特に力を入れる取組を「重点プロジェクト」として5つ設定しています。

5つの重点プロジェクト



プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出

●共販所Web入札システム用機材や木材検収システム等の導入など、効果的な流通システムの構築を支援した。

●木材需給システムのさらなる利用拡大に向けて、広葉樹材の流通拡大を図るため、先進地調査及び検討会を開催し、知見を集積した。



広葉樹利用検討会



タブレット型木材検収システム

●CLTのトータルコスト削減と需要拡大に向けて、CLTユニットの開発や実証の取組を支援した。

●低コストで生産可能な新たな木質建材である「超厚合板」や「DLT」の開発を支援した。

●中高層建築物等への木材利用の拡大を図るため、木造建築に関する技術者育成の取組などを支援した。



CLT案内所



超厚合板製造の状況



DLT強度試験



木造建築に係る技術者育成研修

プロジェクト2 主伐・再造林による資源の循環利用

●再造林を推進するため、造林経費に対する補助を行うとともに、低コストな再造林を普及するため、提案型の低コスト再造林の実践を支援した。

●森林経営管理制度の推進に向け、圏域推進会議等を開催したほか、特に支援を必要とする市町村への伴走型モデル支援による集積計画の作成支援等を実施した。



切株グラインダーの試用



規格外大苗 (H=70cm) の活用



森林経営管理制度における現地調査

プロジェクト3 経営能力の優れた経営者の育成、新規就業者の確保

●人材の確保育成や就業環境の向上に向けた取組を推進するため、令和2年度に設立した「みやぎ森林・林業未来創造機構」が、令和4年4月に開校した「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」において、各種研修を実施した。



みやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校式



カレッジの研修 (育林ビジネス講座)

プロジェクト4 地域・産業間連携による地域資源の活用

●東京で開催されたMOCTION(モクシオン)等、各種イベントにおいて森林認証材の普及PRを実施した。

●県産きのこの魅力発信等に向けて、きのこを用いた料理教室の開催等を実施した。



森林認証を受けた森林



首都圏での森林認証材使用家具等のPR活動



県産きのこを用いた料理教室の開催

プロジェクト5 海岸防災林の活用等による震災の教訓伝承と交流人口の拡大

●みやぎグリーンコーストプロジェクトの取組として、バスツアーやみやぎ海岸防災林対話会などを開催し、震災の教訓伝承と交流人口の拡大に取り組んだ。

●植栽や下刈り等を行う団体の技術指導を行い、育樹活動を支援した。

●海岸防災林の重要性等について普及・啓発を図るため、水族館等でパネル展示等を行った。



バスツアー (海岸防災林の役割などを説明)



海岸防災林での下刈り作業



海岸防災林の重要性の普及啓発 (仙台うみの杜水族館でのワークショップ)